

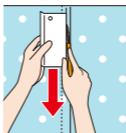
生のり付き壁紙を上手に貼るポイント

●カッターの刃はこまめに折る



切れが悪くなると壁紙が破れてしまう恐れがあります。折った刃は危険のない様に処理して下さい。

●壁紙を上手に切るポイント



カッターの刃をカッティングメジャー、又は地べらから離さずになをスライドさせながら切ります。

壁の上部



壁紙の端部を切る場合、刃の位置に注意。

壁の下部



カッティングメジャーの外側で切して下さい。

●コーナー部分の貼り方



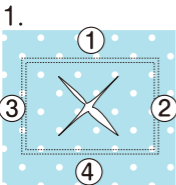
図の様にはみだし部分を切り易いように折り込み、押さえバケで軽く叩く様にして押さえつけ、すき間をなくします。

角は指で押さえる

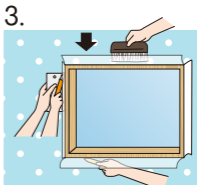
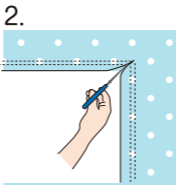


ハサミ又はカッターで角部分に切り込みを入れ竹べらで角を出します。

●窓枠やドアまわりの貼り方



1. 大き×字にカットを入れ、余分な壁紙を荒切りしておき、1～4の順に仕上げます。
2. 枠の厚みを考慮しながらハサミで切り込みを入れます。
3. 押さえバケと竹べらを使いしっかりと押さえたあと切り取ります。



●コンセントまわり



コンセントはプレートははずし、金具の位置を指で確認しながら×字に切り込みを入れ、切り抜きます。このときプレートより大きく切り取らないように注意します。

貼る前のアドバイス

- 開封後は生のりが乾燥し始めますので、できるだけ早目にお貼り下さい。室内温度、風通しなどの条件により異なりますが、約1～2時間で壁紙の端の方から乾燥が始まります。長時間放置しておくと、生のりが乾燥して貼ることができなくなります。
- コンセントやスイッチのカバー等の突起物はあらかじめドライバー等で外しておいたほうが作業しやすくなります。(取り外しの際は感電にご注意下さい。)
- 下地処理をして下さい
箱の側面に記載している「下地処理の方法」を参考に、下地に適した処理を行って下さい。

貼る時のご注意

- 作業中、作業後はこまめに換気して下さい。
- 作業中に壁の周りに付いた生のりは、できるだけ早く水を含ませたタオル又はスポンジで拭き取って下さい。そのまま放置しますと生のりが取れなくなったり、黄色く変色します。
- 不要になりました保護フィルムは滑りやすく危険ですので、足元に放置しないで下さい。転倒やケガの原因になります。
- 作業後は石鹸等を使用してぬるま湯でよく手を洗い、クリームなどでお手入れして下さい。